

明和町立明和中学校建設

基本構想

明和中学校建設検討委員会

目 次

1 基本構想策定に至った経緯	1
2 現在の状況	2
3 生徒数の推移	4
4 中学校建設の基本的な方針	5
5 中学校建設の基本条件	6
(1) 機能・規模の想定	6
(2) 諸室の想定	6
(3) 施設構成等	7
6 参考資料	8
(1) 明和中学校建設検討委員会	8
(2) 明和中学校建設に関するアンケート調査結果	27
(3) 学校沿革史	35

1 基本構想策定に至った経緯

現明和中学校は昭和 33 年建築が始まり、昭和 34 年から昭和 38 年にかけて 4 期に亘り竣工しました。その後、校舎の増築や大規模改修の実施を経て、現在に至っています。(平成 9 年に校舎、平成 21 年に体育館の耐震補強工事完成)

こうした中、町では、平成 24 年度に明和町義務教育施設整備検討委員会を立ち上げ、町内の施設について、今後の整備の方向性を検討した結果、築 52 年を経過(通常、校舎の耐用年数は 60 年と言われています。)している明和中学校については、主に以下の理由から改築が望ましいとの結論に至りました。

【改築が望ましいとする理由】

- ・校舎の IS 値(建物の耐震性能を表す指標で 0.7 を超える数値が望ましいとされています。)が 0.4 程度であったため、耐震改修工事を行い現在に至っているが、大半の校舎が耐用年数の満了を迎えつつあり老朽化が激しい。

	建築年次	診断時期	IS 値 (改修前)	IS 値 (改修後)
管理教室棟	昭和 33 年	平成 8 年	0.41	0.79
特別教室棟	昭和 34 年	平成 8 年	0.38	0.70
体育館	昭和 38 年	平成 19 年	0.44	0.86

※避難場所に指定される建物については、IS 値 0.75 以上が望ましいとされており、東日本大震災以降 0.75 以上が重要視されてきている。

- ・校舎のいたるところで雨漏りがあり、その影響から天井が崩落するなど、老朽化が激しい。(以下、写真参照)

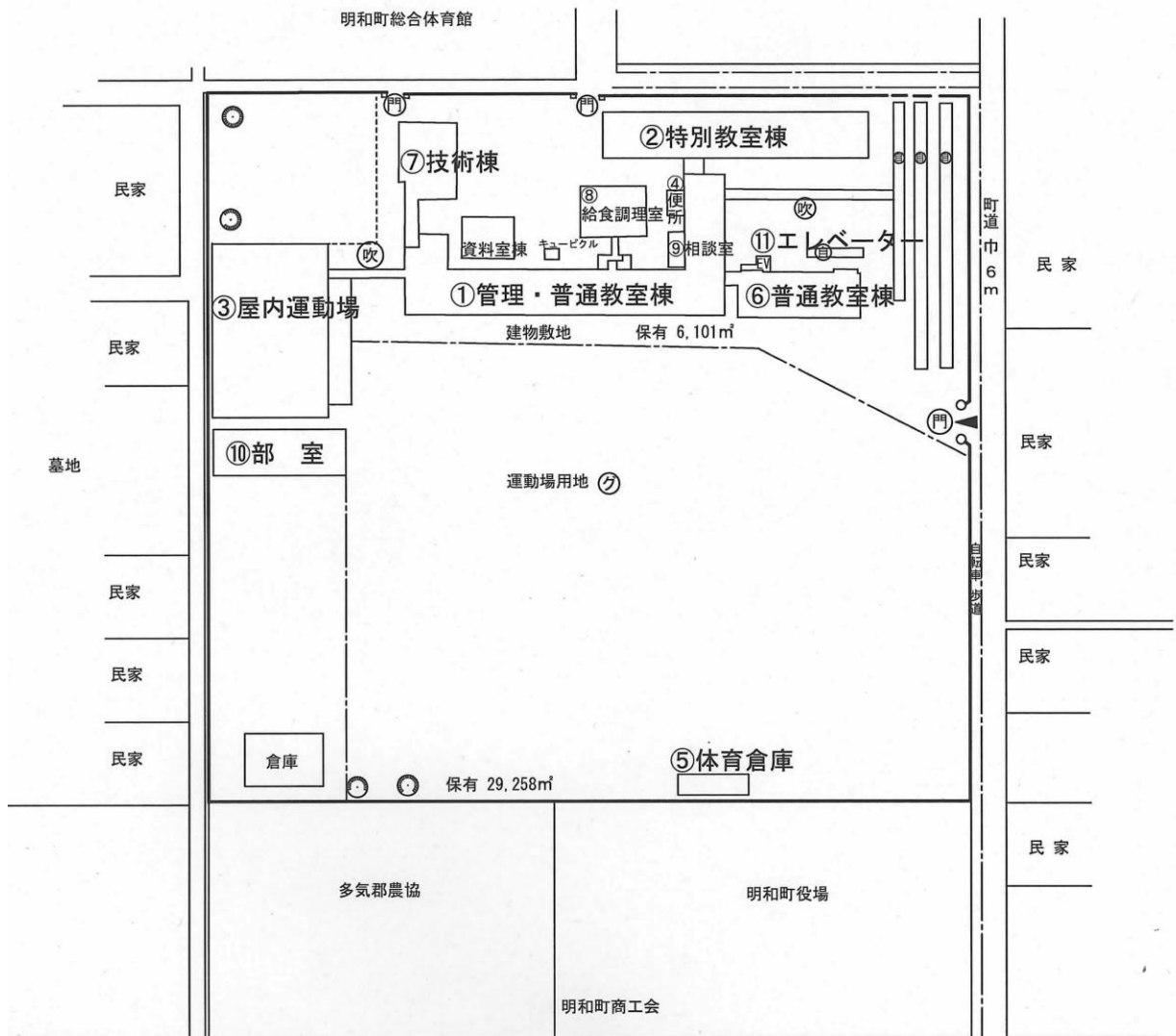
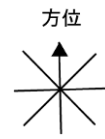


2 現在の状況

現在の明和中学校の敷地には、校舎（管理教室棟・特別教室棟・技術棟）、給食室、屋内運動場（体育館）、資料室、部室、運動場が配置されています。

なお、プールについては、老朽化のため平成 22 年度に取り壊しました。

	施設名称	構造	階数	建築年月	経過年数	保有面積
1	管理・普通教室棟	RC 造	3 階	S34/6	54 年	2,849 m ²
2	特別教室棟	RC 造	3 階	S34/12	54 年	1,563 m ²
3	屋内運動場	S 造	2 階	S38/3	50 年	1,154 m ²
4	便所	S 造	1 階	S55/8	33 年	23 m ²
5	体育倉庫	S 造	1 階	H22/3	3 年	58 m ²
6	普通教室棟	RC 造	3 階	S57/3	31 年	780 m ²
7	技術棟	RC 造	2 階	H3/2	22 年	445 m ²
8	給食調理室	RC 造	1 階	H5/3	20 年	258 m ²
9	相談室	S 造	1 階	H7/9	18 年	63 m ²
10	部室	S 造	1 階	H8/10	17 年	282 m ²
11	エレベーター	S 造	3 階	H15/10	10 年	63 m ²



3 生徒数の推移

明和中学校の生徒数は、平成 15 年からの 10 年間では、途中減少傾向にあったもののほぼ横ばい状況にあります。10 年間の将来の予測については、今後数年間は横ばいの状況が続くものの、その後減少していく傾向にあります。

表 生徒数の推移

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1年生	210	202	227	208	214	224	234	247	215	234	240
2年生	232	209	202	225	210	214	224	232	245	215	235
3年生	243	231	206	201	224	210	213	225	232	246	216
合計	685	642	635	634	648	648	671	704	692	695	691

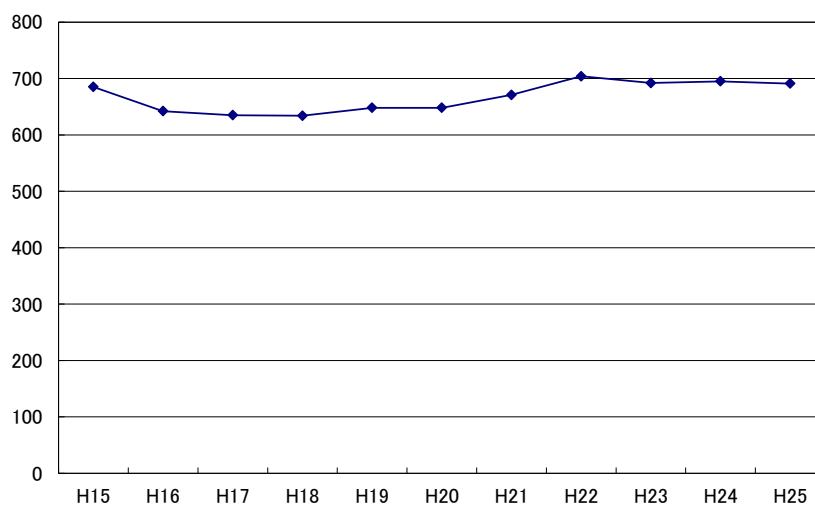
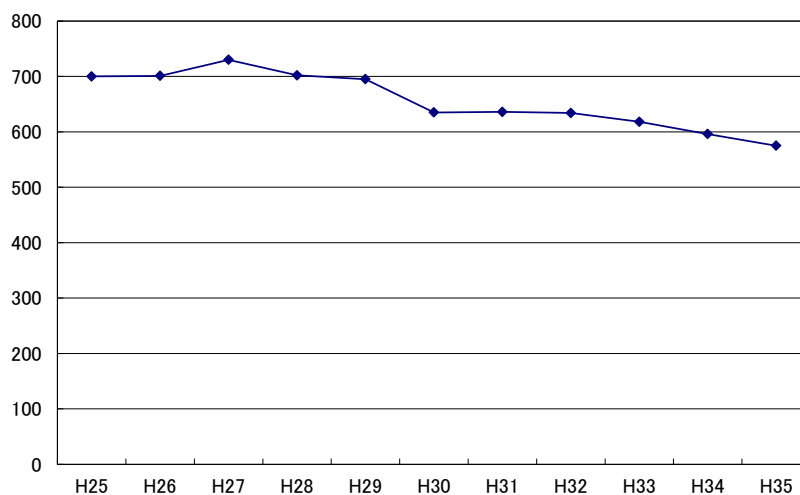


表 生徒数の推計

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
1年生	240	223	259	201	207	192	204	217	188	191	196
2年生	235	236	223	259	201	207	192	204	217	188	191
3年生	216	233	236	223	259	201	207	192	204	217	188
特別支援	9	9	12	19	28	35	33	21	9	0	0
合計	700	701	730	702	695	635	636	634	618	596	575



4 中学校建設の基本的な方針

新しく建設する中学校整備の基本的な方針は以下とします。

① 自ら学び・共に伸びるような学校生活を営むことができる学校

学校は、すべての子どもたちが勉強をしたり、スポーツを楽しんだり、仲間同士で語り合ったりしながら1日の大半を過ごす場所です。

そのため、校舎・屋内運動場（体育館）・運動場・特別支援教室等を適切でゆとりある配置や規模にします。

また、毎日の授業に大きな影響を与える教室の日照など機能性、快適性を確保します。

② 安全で安心な学校

この地方では、大地震がいつ起きても不思議ではない状況にあります。そのため、耐震性の高い計画とし、地域の避難場所としての機能を果たす事ができる事も検討します。

また、学校は誰もが快適に学校生活を送る事ができるように、ユニバーサルデザインを基本とし、心のバリアフリーを目指し、心の悩み相談室といった機能の導入を検討します。

③ 自然環境に配慮した学校

CO₂削減を初めとした環境への配慮は、既に一般化しており、学校生活においても当然取り組むべき課題です。

子どもたちの新しい校舎での生活にあたり、日頃から環境問題に関心を持ち、環境教育につながるよう計画します。

④ 地域と連携した学校

学校は、地域社会に根差した学校として、地域社会とともに発展していく事が求められています。

そのためには、地域に開かれ・地域の方と交流できる機能・スペースをもつ学校であり、地域交流の場として使いやすく管理が行いやすい計画とします。

5 中学校建設の基本条件

(1) 機能・規模の想定

- ① 普通教室：将来推計と、国の少人数学級の推進を考慮し、21 クラス（1 クラス 35 人を想定）及び特別支援教室とする。なお、教室の広さは、40 人規模の広さを確保する。
- ② 特別教室：現在と同種類の教室を基本に配置する。
- ③ 体育施設：グラウンドは、現在と同程度の規模とする。
屋内運動場は、避難所としての活用も想定した規模とする。なお、武道の授業が必修科目となったことから武道場を併設するものとする。
プールについては、建設しないものとする。
- ④ 管理諸室：必要諸室は、平面計画に合わせて再度計画とする。
- ⑤ その他：多目的スペース及び多目的教室の計画を検討する。

(2) 諸室の想定

計画する学校の諸室を下記と想定する。

区 分		諸 室
校舎	普通教室	普通教室、特別支援教室
	特別教室	理科室（2室）、音楽室（2室）、美術室（2室）、家庭科室（2室）、木工・金工室、図書室、視聴覚室、特別活動室、教育相談室（3室）、コンピューター室、特別教室の準備室（6室）、カウンセリングルーム（2室）、生徒会室など
	管理諸室	職員室、校長室、職員更衣室（男・女）、職員トイレ（男・女）、職員休養・休憩室（男・女）、会議室（2室）、事務室、倉庫、印刷室、放送室、保健室など
	その他	多目的スペース、玄関、階段、廊下、教材室、生徒用更衣室（男・女）、生徒用トイレ（男・女）、多目的トイレ、エレベーター、給食用エレベーター、配膳室（各階）など
給食施設		調理室など
体育施設等		屋内運動場、ステージ、ミーティングルーム、器具庫、シャワールーム（男・女）、屋外トイレなど

(3) 施設構成等

今後、中学校の配置及び平面計画等を検討するための基本的な方針は以下のとおりです。

① 全体計画

- ◆ 学校教育活動への影響を考え、現敷地内に建設を行い、仮設校舎は建設しないものとする。
- ◆ 建設工事に伴い、生徒や学校教育活動への影響に十分配慮を行う。
- ◆ 地域との連携について配慮した計画とする。
- ◆ 地域への景観向上となる計画とする。

② 配置計画

- ◆ 日照、採光、通風等、良好な自然環境を確保できる配置とする。
- ◆ 学校敷地への出入りは、安全な移動経路を確保できる配置とする。
- ◆ 防犯等の観点から、各施設に目が行き届き、死角が生じにくい配置とする。
- ◆ 現校舎跡地についても、有効活用できる配置計画とする。

③ 施設計画

- ◆ 将来の学級数の変動や学習内容・学習形態等の変化に柔軟に対応できる計画とする。
- ◆ 同一学年が同一フロアで過ごせるよう計画し、階層は3階建て以下とする。
- ◆ 教室は、採光・通風の良好な環境条件を確保し、過ごしやすい教室計画とする。なお、教室には空調を整備する。
- ◆ 手洗い場やトイレは、明るくて清潔で使いやすい設備とし、あわせて多目的なトイレも計画する。
- ◆ 生徒が活動しやすい広く日当たりのいいグラウンドとする。
- ◆ 他のクラス・学年と交流できる多目的ルームの適切な配置を計画する。
- ◆ 特別教室は、各教科の特性に配慮し、相互利用や適宜集約など、さまざまな工夫がある計画とする。
- ◆ 衛生的で安全な給食配膳ができる計画とする。
- ◆ ITなどのシステムについて、将来の変化に柔軟に対応できる計画とする。

6 参考資料

(1) 明和中学校建設検討委員会

①設置要綱

明和中学校建設検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 明和中学校校舎等の建設にあたり、将来を担う中学生に優れた学習空間を整備していくため、また当町の文化・体育の拠点、災害に対しての安全安心の拠点としての教育施設としていくため、「明和町義務教育施設整備検討委員会」の答申を踏まえた中学校校舎等の建設を図ることを目的として、明和中学校建設検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 中学校の基本的な構想等に関する事。
- (2) その他町長が必要と認める事項に関する事。

(組織)

第3条 委員会は、10人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、各種団体の代表、識見を有する者のなかから町長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、基本設計完了までとする。ただし、委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総括し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求め、意見を聞くことができる。

(作業部会)

第7条 委員会に、その所掌事務を遂行するために、作業部会(以下「部会」という。)を置くことができる。

(事務局)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会教育課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めのない事項については、町長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成25年5月31日から施行する。

明和中学校建設基本構想検討項目の概要

施設全体計画

改築対象建物とその配置

- ・既存施設のうちのどの建物を改築対象としていくか。
- ・どこに建設するか。
- ・校舎等をどのように配置するか。

学校規模

- ・普通教室のクラス数。障害児教室のクラス数。少人数授業を行う教室は。

各部門の配置

- ・普通教室部門
普通教室の配置（向き、階数）。特別支援教室の配置。
- ・特別教室部門
特別教室棟を設けるか（理科室、家庭科室など）。多目的ホールなどの配置は。
- ・管理部門
職員室の配置（防犯・安全対策）。校長室の配置（職員の連携）。放送室、印刷室、保健室などの配置。
- ・スポーツ部門
バリアフリー、エレベーターなど福祉対応は。多目的便所の配置。二方向避難。

動線計画・外構計画

正門～昇降口

- ・来校者（歩行者、車両）の出入り。
- ・昇降口や来客用玄関の利便性や防犯性。

教職員駐車場・地域開放玄関

- ・教職員用駐車場の整備。

グラウンド

- ・グラウンドの配置。一般開放に備えた屋外用具倉庫と屋外便所の設置。周囲への防球ネット配置

環境計画

学習環境

- ・冷暖房設備の配置。木材をはじめとした自然素材の使用。ユニバーサルデザインの思想を取り入れた設計。

地球環境

- ・社会教材としても活用できる太陽光発電設備の設置。浸透性ブロック等を使用した外部塗装など環境負荷を低減する配慮。遮光庇や自然換気の利用など、エコスクールの思想を取り入れた設計。

②委員名簿

(◎は委員長、○は副委員長)

	区分	所属等	役職等	委員氏名
1	学校関係	校長会代表者	明和中学校校長	中川 直樹
2		中学校教員代表者	明和中学校教諭	鈴木 容子
3		P T A代表者	明和中学校P T A副会長	西川 幸宏
4		教頭会代表者	斎宮小学校教頭	辻 雅大
5		養護部会代表	明和中学校養護教諭	中西 みづほ
6		給食部会代表	斎宮小学校栄養教諭	吉田 千代
7	識見者	三重大学	大学院工学研究科准教授 (建築構造学・地域防災学)	川口 淳
8		皇學館大学	教育学部教育学科教授 (幼児教育学・保育学)	◎ 田口 鉄久
9		学校評議員代表	明和中学校学校評議員 (元明和中学校長)	○ 石田 和弘

オブザーバー	県教育委員会	県教育委員会 事務局学校施設課長	釜須 義宏
--------	--------	---------------------	-------

事務局	教育委員会	教育長	西岡 恵三
		教育課長	西田 一成
		施設整備推進監	世古口 哲哉
		教育課教育係 学校教育担当係長	西村 正樹
		教育課教育係学校教育担当	川島 大嗣

③開催概要

	開催日時	開催概要
第1回	平成25年6月13日	委嘱状交付、委員長・副委員長選出、現状・経過等、今後の進め方、中学校現地確認
第2回	平成25年7月19日	大阪府門真市はすはな中学校視察
第3回	平成25年8月19日	アンケート(案)、人口推計、建設整備方針、校舎等の配置、施設構成等
第4回	平成25年9月18日	アンケート結果について、施設構成等協議
第5回	平成25年10月25日	基本構想(案)協議
第6回	平成25年11月18日	基本構想(案)協議
第7回	平成25年12月2日	基本構想(案)最終協議・確認

主な意見のまとめ

◎基本構想に盛り込んだ意見

【機能・規模の想定関係】

- ・学校は建設したら50年使うことになる。それを見据えた施設規模の設定が必要だと思う。さらに、将来児童数が減ったときに、どのように施設転用するかを考えながら計画する必要があると思う。大規模団地の建設等による人口の増大の見通しがなければ、現状での最大の数値を採用するのがよいと思う。
- ・プールは、維持管理費がすごくかかる。プールを使うのが、思春期の子どもたちであるということも考慮する必要がある。学校としては、プールの維持管理の大変さ、また使用期間が短期間という問題もあり、プールの設置は難しいと考えている。
- ・現状の生徒数の10年推計では、急激に生徒数が増えることは考えられないので、少人数学級35人と仮定した際の最大学級数を考えると21学級、特別支援学級は過去10年間を見ていると、今後も増えるようなことも十分考えられるので、4学級ほどあるとありがたい。
- ・防災拠点としての起用もコンセプトに含むべきだ。
- ・体育館は、はずはな中学校のように体育館と学校とを扉で切り離し、災害時の状況が好転し、授業が再開された場合でも体育館を避難場所として使用できるようにした方がよいと思う。
- ・武道場は、総合体育館の武道場を使用するとの考えがある。総合体育館を使用するにあたって制約等はないが、中学校が総合体育館を使い始めた当初に比べ、現在は総合体育館の使用に関して、結構厳しいお言葉をいただく。また部員の更衣なども、以前は総合体育館に置いていて良かったのだが、今は持って帰っているという状態で、だんだん使用に関して厳しくなっている。

【諸室の想定関係】

- ・クールダウンできるスペースは必要である。
- ・各学年ごとに集まる空間なども必要である。
- ・ランチルームに関しては、700名弱が入室できるランチルームを作ることは無理である。全校生徒が一斉に使うのではなく、学年別に分け、各学年で1つ設置してあるというイメージでいいと思う。学年集会など学年単位で使用できるようなスペースのランチルームがあるといいと思う。多目的室を食事の場に用いたりするというのもありだと思う。多目的室は、生徒のアンケートの回答ではそれほど重要視されていないが、教職員の場合は必要であるという意見が目立っている。
- ・多目的スペースは、多目的なスペースと、多目的な教室を計画していく考えていきたいと思う。

- ・更衣室もランチルームと同様に、更衣室のみの利用ではなくて、更衣室としても利用できるような部屋を計画していくことでいいのではないかと。ランチルームよりも小さい部屋で、かつ転用の利く部屋を考えるといいと思う。また、個人用ロッカーは数も多くなるので、考えなくてもいいと思う。
- ・明和中学校は50人以上が働く職場になるので、労働安全衛生法上、休憩室を作らなければならないということになっている。
- ・特別支援学級の生徒の中には、身体障害の方もいると思う。生徒回答のアンケートの要望を見てみると、エレベーターの設置を望んでいる生徒もいる。エレベーターのところは、生徒用のエレベーターと給食用エレベーターと明記してはどうか。
- ・理科室は2部屋で、準備室を付属させてほしい。
- ・美術室も2部屋ほしい。
- ・家庭科に関しては、被服室と調理室がそれぞれ必要。準備室もそれぞれ必要。
- ・パソコン室も必要。1クラス分の生徒が収容できるスペースがあり、また生徒分のパソコンが常設されているようにしてほしい。
- ・木工室、金工室については、それぞれ一室ずつ必要か、担当と相談してみたい。
- ・音楽室も2部屋、さらに準備室が必要。
- ・視聴覚室も必要。様々な授業で映像を見る機会がある為。会議室も、カウンセリング室もあるとありがたい。
- ・生徒会室、放送室は当然配置すべきだと思う。
- ・相談機能も備えている教室等も考える必要がある。
- ・会議室については、共同実施室を含めた諸室に転換が利くように、2室としてはどうか。
- ・給食室は、校舎の中に造るより、衛生的なところも考え、独立して建てるべきである。委託調理の現状や、センター方式に変更されることも視野に入れると校舎と別棟のほうが好ましいと思う。その場合、校舎と給食施設が廊下でつながっている構造にしてもらいたい。また、食材等の運搬トラック等の出入りにも配慮して建設していくことが大切である。
- ・体育館のステージについては、現段階では総合体育館のステージを使用できる見通しがあるが、50年、60年先を考えてステージのことを考える必要があるのではないかと。
- ・体育館にミーティングルームは必要だと思う。中学校のクラブの先生からすると、練習試合とか、大会が開催される時の控室、打ち合わせスペースとして欲しいという声は結構な頻度で耳にする。

【施設構成関係】

- ・現状の土地を有効活用するほうが、メリットがあると思う。
- ・防災の観点から考えると、広い土地を持っているのであれば、建物の階数を増やすのではなく、低いものを建てるのが好ましい。

- ・中学校を何階にするのかといった点を盛り込むことが必要ではないか。3階より上階は作らない。可能な限り同一学年同フロアとするで良いのではないか。
- ・環境に適した学校施設を考えていく必要がある。
- ・死角が多くできるような構造は良くない。
- ・現状の校舎は、廊下が非常に狭い。そのような空間にも配慮した構想が好ましい。
- ・明和中学校は基本的には、普通教室で学習することを中心に考えていくこととしたい。生徒はほとんどの時間を教室で過ごすので、普通教室の居心地の良さは大切だ。精神的にも過ごしやすいものが理想である。生徒たちの気持ちをしっかりと考えた教室にしていきたい。空調は必ず必要。
- ・グラウンドや、体育館に関しては地域の方の利用が想定できる。地域に開放的な施設にすることを考えていく必要がある。

◎今後実施設計までに検討・反映していくべき意見

【建設全般に関する意見】

- ・敷地内のどの位置に建てるかは、状況の変化に合わせて検討していくべきである。
- ・理想としては、役場とJAが先に移動し、その後新校舎建築が望ましい。
- ・建物を何階建にするのかは、外的要因を考えて、跡地利用やその他の諸条件を考慮して検討すべきものであると思う。
- ・高価なもの、豪華なものを建てることと設置後の維持管理にお金がかかることも予想される。近隣の市町の学校の話も聞いたうえで、どういったものを建てるか検討したほうが良いと思う。
- ・現場のいろいろな声を聞いて建設していく必要がある。
- ・今の建物は100年建築とも言われている。100年とは言わないが、60年先に、「中学校は良い建物だな」といわれるような建物を建てないといけないと思う。
- ・建設工事中は、第2グラウンドの活用を考えておく必要がある。道路を渡る関係から安全面にも配慮が必要である。工事中の安全面について、予算も確保した上で十分に配慮してもらいたい。
- ・建設時の騒音、振動、通学に配慮が必要である。
- ・排水のことも考えて建築願いたい。
- ・校舎を建て替える時に、学校の敷地の周辺道路（役場前の信号交差点や、裏の道路など）も環境整備をしていただきたい。また、歩道をつけてほしい。グラウンド側は歩道があるが、反対側はない。学校近辺だけでも、自転車が通れるような歩道の整備も含めて考えていただくとありがたい。
- ・地域と連携した学校の具体的なこと、例えば学校の施設としてどこまで、そしてどの施設を地域に開放していいかを、現場の声をしっかりと聞いて検討していく必要がある。

る。それに合わせて、外部とつながる出入り口をどこに設置するかなども考える必要がある。

- ・地域との連携のところは、あまり見えていない部分が多いので今後の協議の中でさらに検討していくべきではないか。

【諸施設・教室に関する意見】

- ・役場が動かず、グラウンドが狭くなるということがないようにしてほしい。
- ・教室の大きさや配置をどのようにしていくかは重要なことである。教室に関しては、使わない場合の転用もプランに入れて建設するべきだと思う。
- ・安全・安心を重要視して建設を考えていってもらいたい。現在の廊下の窓は低い位置にあり危険である。階段の手すりの高さにも配慮して設計してもらいたい。
- ・廊下については、片廊下でお願いしたい。
- ・クールダウンできるようなスペースは、廊下を広くして、コーナーに椅子を設置したようなスペースと、部屋を用意し、くつろぐという空間の両方で考えていきたいと思う。
- ・数学や社会など特別教室を持たない授業の準備室がほしいなどの意見もあるので、特別教室の種類及び数と、その他必要な施設・部屋等に関しては学校での要望を聞いてからまとめたほうがいいと思う。
- ・諸室の想定各欄の表記の最後に「等」と書いてあるので、この「等」がすごい数を含んだ「等」と考えている。この「等」には沢山のものがあるということを通認としてもらいたい。明記されていないということで、省くことはあってはいけない。中学校としては、他にもまだまだ設置してほしい部屋がたくさんある。諸室の想定はあくまで基本的な部屋であって、実際の設計段階で、しっかりと考えてもらいたい。
- ・管理諸室も、現在と同程度となると、現在の職員室では大変狭い。
- ・大きな学校には事務室が別室で用意されていると思う。また共同実施室も設置してもらいたい。共同実施室としても使えるような事務室の部屋の規模は、役場の大会議室の半分程度であれば十分である。共同実施室用として部屋を設けていただくことに加え、少なくとも電話回線、パソコン回線の独立を要望する。事務室を広めに設計してもらえば、共同実施室としての使用も可能だとの意見もいただいている。
- ・望ましい食育の場となるよう、給食のスペースを考えてほしい。
- ・今の給食室や、トイレはほとんどの学校がドライとなっている。大腸菌の付着率も従来と比べてみると、大きく違いがある。洋式トイレでドライが主流である。ワンフロアに1つ和式トイレがある割合でいいと思う。
- ・体育館のトイレは、避難場所となって数多くの利用者が発生することを想定し、通常よりも多く、広く作る必要があると思う。さらに浄化設備が機能しなくなる場合も十分考えられるので、その際の不足を補うためのアイテム等も備え付ける必要があると

思う。それらが揃い初めて避難所として機能するのだと思う。

- 体育館は現在の広さより広くしていただきたい。卒業式が行えるような広さはほしい。また、避難所も兼ねるのなら、体育館は2階建にしていただきたい。2階建てにすれば、床面積で考えると倍の人が収容できる。1階は災害時に役場のほうで使えるように、フロアではなくてコンクリートでも良いのではないか。2階はフロアにして、体育館として使えるようにしてはどうか。
- 新たに建つ校舎の位置にもよると思うが、現校舎跡地には、庭のような息抜きができるようなスペース、また現在は職員駐車場が足りず総合体育館の駐車場を借りている状況なので、駐車場なども考えてもらったうえでスペースの活用を期待したい。
- 生徒が使う玄関は、どのような棟が建つかにもよるが、基本的には生徒数が多いので最低2つは必要である。
- ソーラー発電は、災害時には大きなことは望めないが、活用可能なものである。
- 屋上にソーラーパネルを設置してしまうと、屋上に避難場所がなく、避難施設としてどうかという問題がでてくる。
- 風力発電も考えてみてはどうか。
- 空調に関しては、井戸水を用いた空調というものも考えてみてはどうか。

第1回 明和中学校建設検討委員会での主な意見	
1	改修後のIS値が、0.70～0.86となっている。0.7という数値は、簡単には壊れないが、壊れるかもしれない、という状態であり安全というわけではない。壊れないぎりぎりのレベルであり、できるだけ早く建設の方向性を決めていくことが大事だと思います。
2	理想としては、役場とJAが先に移動し、その後新校舎建築が望ましいのではないかと。
3	建設工事中は、第2グラウンドの活用を考えておく必要がある。道路を渡る関係から安全面にも配慮が必要である。
4	プールを建設するかどうかの検討が必要である。
5	プールは、屋上に建設しないほうが良いと思う。水は1m ³ =1tあり、とんでもない重さになります。積雪どころの話ではなくて、構造体に倍近くのお金がかかります。また、地震がおきると、液体が長周期で揺れるので、構造体に非常にシビアなダメージを与える可能性があります。
6	プールがあると災害時に活用できるというメリットがある。
7	プールは、維持管理費がすごくかかる。
8	プールを使うのが、思春期の子どもたちであるということも考慮する必要がある。
9	建設時の騒音、振動、通学に配慮が必要ではないかと。
10	騒音は解体時に発生する。建設に伴う騒音は多少の影響はあると思いますが、ほとんど出ないと思います。
11	工事中の安全面について、予算も確保した上で十分に配慮してもらいたい。
12	更地に建てるのと、隣に建てるのではコストがまったく違ってくることも、考慮しておく必要がある。
13	現状の土地を有効活用するほうが、メリットがあると思う。
14	校舎を少しだけ前に建築し、その後ろを壊して跡地に建てるという手法もある。
15	役場が先に移動した場合、役場後地に建ててはどうか。
16	敷地の件に関しては、状況の変化に合わせて検討していくことでいいのではないかと。
17	役場が動かず、グラウンドが狭くなるということがないようにしてほしい。
18	学校は建設したら50年使うことになる。それを見据えた施設規模の設定が必要だと思う。さらに、将来児童数が減ったときに、どのように施設転用するかを考えながら計画する必要があると思う。
19	自治会長も建設検討委員に選任したほうがいいのではないかと。
20	高価なもの、豪華なものを建てる则設置後の維持管理にお金がかかることも予想される。近隣の市町の学校の話も聞いたうえで、どういったものを建てるか検討したほうが良いと思う。
21	望ましい食育の場となるよう、給食のスペースの設置等を考えていってほしい。
22	現場のいろいろな声を聞いて検討していく必要があると思う。

※第2回は大阪府門真市「はすはな中学校」を視察

第3回 明和中学校建設検討委員会での主な意見	
1	環境に適した学校施設を考えていく必要があると思います。
2	クールダウンできるスペースの検討は必要である。
3	生徒数の推計だけで、普通教室数や、特別支援教室数を基本構想に反映していくのは少し難しいのではないかと。
4	今後、大きな団地建設等の計画がなければ、この推計の数字を基にして大丈夫ではないかと。団地等の建設予定がなければ、現状での最大の数値を採用するのがよいと思う。
5	はすはな中学校は、教室が横広がりになっていた。これは先生との距離感という観点から、配慮されたのだと思う。
6	できる限り一人ひとりに寄り添った授業を実践していく必要がある。
7	基本的には一斉授業が中心なので、教室の大きさや配置をどのようにしていくかは重要なことである。
8	死角が多くできるような構造は良くない。
9	現状の校舎は、廊下が非常に狭い。そのような空間にも配慮した構想が好ましい。
10	教室に関しては、使わない場合の転用もプランにに入れて建設すべきだと思う。
11	防災拠点としての起用もコンセプトに含むべきだ。
12	教室を転用するにしても、転用できるような仕掛けを仕込む必要がある。また、転用する機会が来た際には費用がかかるので、比較的上手に転用できる空間が必要だと思う。
13	教科別の教室で学習するといった学校も出てきているが、明和中学校は基本的には、普通教室で学習することを中心に考えていくこととしたい。
14	生徒はほとんど教室で生活するので、普通教室の居心地の良さが大切だと思う。
15	防災の観点から考えると、広い土地を持っているのであれば、建物の階数を増やすのではなく、低いものを建てるのが好ましい。明和中学校には津波は届かないと予想されているが、予想外のことも起こりうるのが大災害である。仮に、津波が到達したとしても、2階には達することはないと思うので、それ以上高い建物を立てる必要は、広い土地がある以上不要だと思う。
16	各学年ごとに集まる空間なども必要である。
17	相談機能も備えている教室等も考える必要がある。
18	ソーラー発電は、災害時には大きなことは望めないが、活用可能なものである。
19	体育館の使い方は、はすはな中学校のように体育館と学校とを扉で切り離し、災害時の状況が好転し、授業が再開された場合でも体育館を避難場所として使用できるようにした方がよいと思う。
20	体育館のトイレは、避難場所となって数多くの利用者が発生することを想定し、通常よりも多く、広く作る必要があると思う。さらに浄化設備が機能しなくなる場合も十分考えられるので、その際の不足を補うためのアイテム等も備え付ける必要があると思う。それらが揃い初めて避難所として機能するのだと思います。
21	空調に関しては、井戸水を用いた空調というものも考えてみてはどうか。

22	安全・安心を重要視して建設を考えていてもらいたい。現在の廊下の窓は低い位置にあり危険である。
23	階段の手すりの高さにも配慮して設計してもらいたい。
24	グラウンドや、体育館に関しては地域の方の利用が想定できる。地域に開放的な施設にすることを考えていく必要がある。
25	教室は精神的にも過ごしやすいものが理想である。生徒たちの気持ちをしっかりと考えた教室にしていきたい。
26	柔軟な考えをもって基本構想を策定していくべきだと思う。
27	最低 50 年使わないといけない。今の建物は 100 年建築とも言われている。100 年とは言わないが、60 年先に、「中学校はいい建物だな」といわれるような建物を建てないといけないと思う。

第 4 回 明和中学校建設検討委員会での主な意見	
1	アンケート結果のランチルームに関してですが、700 名弱が入室できるランチルームを作ることは無理だろうと、初めから考えている先生もいると思う。そのような発想で、ランチルームはいらないと答えている先生が大半だと思う。また生徒用の更衣室も同様で、これほどの人数の部屋を確保するのは無理だろうと初めから想定して「いらない」と回答している先生が多いと思う。
2	学年別に使うようなランチルームにすると、非常に使いやすい空間となると思う。全校生徒が一斉に使うのではなく、学年別に分け、各学年で 1 つ設置してあるというイメージでいいと思う。また、700 人が体育館のような広大な場所でご飯を食べているというのはイメージしにくいと思う。各学年でランチルームがあるとするなら、賛成意見もある程度出てくると思う。クラス単位でのランチルームの場合は、教室で給食を食べればいいので、不必要と答える意見が目立つと思う。
3	以前に飯南中学校を見てきた際にランチルームの収容人数は 200 人程度だったのですが、使い回しが非常にしやすいサイズだと聞きました。飯南中学校のように、机、椅子等も移動することができ、学年集会など学年単位で使用できるようなスペースのランチルームがあるといいと思う。また、700 人が一斉にランチルームで食事をする、食育指導も非常に困難だと思うので、全体のランチルームは不必要だと思う。
4	調理室をシャッターで遮断できるようにし、学年集会に使用できるような設計にしたらいと思う。
5	ランチルームとして、色々な運用の仕方が考えられるサイズが 200 人程度のスペースだと思う。
6	ランチルームのようなスペースがあることは非常に大切だと思う
7	食事の際は食事の場へ、着替える際は更衣室へ行って着替えをするのが理想ですが、非常に人数も多い学校なので、そこに行くまでの移動時間がかかる。限られた学校生活を考えていくと、移動時間の無駄が多くなる。
8	自分の学生時代の時は、この教室は男子の更衣室、あちらの教室は女子更衣室というように、教室で着替えていた。また高校は今も教室で着替えている。
9	多目的室を着替えの場に用いたり、食事の場に用いたりするというのもありだと思う。多目的室は、生徒のアンケートの回答ではそれほど重要視されていませんが、教職員の場合は必要であるという意見が目立っています。
10	着替えをする場で、食事をするという行為が、教育的にどうかと考える。しかし、多目的室という空間の利用の仕方は非常に有効であると思う。

11	ランチルームに関しては、多目的室との兼ね合いの中で検討し、方向性としてはランチルームも兼ねることができるということではないか。
12	更衣室に関しては、管理が非常に難しいと思う。たとえば、生徒全員のロッカーの鍵の管理をどうするかです。多目的室の運用方法を考えて、時には更衣室という方法をとる方がいいと思う。今の生徒は、体育が終わった後教室で着替えたり、廊下で着替えたりなど、色々な場所で着替えていますので、更衣室そのものが必要かどうか疑問です。
13	更衣室もランチルームと同様に、更衣室のみの利用ではなくて、更衣室としても利用できるような部屋を計画していくことではないか。ランチルームよりも小さい部屋で、かつ転用の利く部屋を考えるといいと思う。また、個人用ロッカーは数も多くなるので、考えなくてもいいと思う。
14	太陽光に限定していうと、常に電力会社に売電している格好が目立ちます。いざ、避難所で使う時、使えない状況の学校が非常に多いです。売電から切り替えるようにできる設備もあるのですが、非常に高価です。
15	災害のことを考えるのであれば、発電機を置くほうが効果的である。
16	施設とソーラーパネルの寿命が違いすぎる。ソーラーパネルはあってもかまわないが、維持し続けるのにお金が必要になる。
17	屋上にソーラーパネルを設置してしまうと、屋上に避難場所がなく、避難施設としてどうかという問題がでてくる。
18	環境教育の推進と、普段の電気を少しでも賄うという方向性で、ソーラーパネルに関しては考えていいのではないか。
19	太陽光発電のみが環境教育というわけでもないで、他の発電方法等も考えてもいいと思う。ただ、太陽光発電は最近のトレンドなので、設置を検討したほうがいいと思う。
20	風力発電も考えてみてはどうか。
21	明和中学校は50人以上が働く職場になるので、労働安全衛生法上、休憩室を作らなければならないということになっている。当初から作っておかなければ、どこかの教室を休憩室に代替して使用することになってしまう。また、トイレについては洋式トイレの需要が高まってきている。ただし、すべてが洋式トイレになると、人が座った後の便座に座るのが嫌な方もいるので、洋式トイレ、和式トイレの両方を使えるようにしたほうがいい。
22	床面をドライにすると割と衛生的です。今の給食室や、トイレはほとんどの学校がドライとなっています。大腸菌の付着率も従来と比べてみますと、大きく違いがあります。洋式トイレでドライが主流です。ワンフロアに1つ和式トイレがある割合でいいと思います。また、特別支援学級の生徒の中には、身体障害の方もいると思います。生徒回答のアンケートの要望をしてみると、エレベーターの設置を望んでいる生徒もいます。後付けのエレベーターより、当初からエレベーターは設計に入れておくほうがいいと思います。
23	2階建てであってもエレベーターを設置するという考えで進めていきたいと思います。
24	学校としては、プールの維持管理の大変さ、また使用期間が短期間という問題もあり、プールの設置は難しいと考えている。
25	町営プールを設置して、普段は明和町が管理し、中学校が使用する際は体育で用いるという方法もあると思う。
26	災害時にプールの水を飲み水にするのは非常に難しいが、生活用水として考えるのは良いことだと思う。しかし、衛生面の維持管理は普段から必要である。

27	クールダウンできるようなスペースは、廊下を広くして、コーナーに椅子を設置したようなスペースと、部屋を用意し、くつろぐという空間の両方で考えていきたいと思いをします。
28	建物を何階建にするのかは、外的要因を考えて、跡地利用やその他の諸条件を考慮して検討すべきものであると思う。
29	現状の生徒数の10年推計では、急激に生徒数が増えることは考えられないので、少人数学級35人と仮定した際の最大級数を考えると21学級、特別支援学級は3学級ぐらいだというのが大体の予想ではないでしょうか。
30	特別支援学級は過去10年間を見ていると、今後も増えるようなことも十分考えられるので、4学級ほどあるとありがたい。
31	理科室は2部屋で、準備室を付属させてほしい。
32	美術室も2部屋ほしい。
33	家庭科に関しては、被服室と調理室がそれぞれ必要です。準備室もそれぞれ必要です。
34	パソコン室も必要です。1クラス分の生徒が収容できるスペースがあり、また生徒分のパソコンが常設されているようにしてほしい。
35	木工室、金工室については、それぞれ一室ずつ必要か、担当と相談してみたい。
36	音楽室も2部屋、さらに準備室が必要です。
37	視聴覚室も必要です。様々な授業で映像を見る機会があります。会議室も、カウンセリング室もあるとありがたいです。
38	特別教室の種類及び数と、その他必要な施設・部屋等に関しては学校での要望を聞いてからまとめたほうがいいと思います。
39	数学や社会など特別教室を持たない授業の準備室がほしい。
40	生徒会室、放送室は当然配置すべきだと思います。
41	更地に建てるということが、一番条件的にはいいというような方向に持っていくことを考えていく方がいいと思う。最初から、中学校建設と役場解体が同時進行していく前提で話を詰めていかなないようにすることも重要だと思う。

第5回 明和中学校建設検討委員会での主な意見	
1	神戸中学校を見させていただいて一番感じたのは「解放感」があることです。廊下や、多目的スペースが、ずいぶん広い。次に、小さい部屋が大変多い。学年で使用する部屋、例えば3年生であれば進路関係、学年の会議、打ち合わせ等に使用します。また、子どもたちがクールダウンできるようなスペースなど小さい部屋が大変多くて、非常に実用的である。また登校の際に、自転車小屋と職員駐車場が離れていて、子どもたちの入口と重なる構造になっていない。また一度訪れると、次はどこへどのように行ったらいいかが、非常に分かりやすい。職員室及び、職員室前廊下も含め、シャッターが下りる構造になっている。すこし手間ではあるが、これにより防犯面の充実が図れている。トイレも、洋式トイレでドライ方式が主流であった。障害者用トイレも設置されており、和式トイレも必ず1つ設置されていた。デメリットと感じたのは、特別棟と校舎1階廊下が、廊下を中央に設置するという構造上、非常に暗い。夏は暑い、冬は寒いという部屋が存在すること。キュービクル、雨水ポンプの設置場所が職員室から離れていること。普通教室が向かい合わせになっているので、他のクラスを干渉しないように、廊下側には窓がありません。掲示板となっており、教室の前方と

	<p>後方に入口があるだけで大変風通しが悪いことなどです。廊下側に窓がないと、授業中以外の休み時間等の際に、教室内で何が起きているのか分からない、生徒同士のトラブルがあっても気がつきにくい、授業参観などの行事の際には非常に不便であると、神戸中学校の先生方がおっしゃっていました。他には、手洗い場がトイレのところにしかないというのも、少なすぎると思います。体育館に更衣室があるのですが、ほとんど使っていないということです。また、エレベーターに関しては、透明であり、外から子どもたちが閉じ込められたりした際にも、見えるような構造になっていました。各棟に給食準備室があり、給食を廊下に置くより衛生的と感じました。多目的スペースも一学年がすべて収まる広さでした。ソーラー設備に関しては、寄付だったということでした。</p>
2	<p>地域と連携した学校の具体的なこと、例えば学校の施設としてどこまで、そしてどの施設を地域に開放していいかを、現場の声をしっかりと聞いて検討していく必要がある。それに合わせて、外部とつながる出入口をどこに設置するかなども考える必要がある。</p>
3	<p>基本構想に「学校では誰もが“同じように”」と明記されていますが、この表現を「みんなが“快適に”」等の表現に変えたほうがいい。</p>
4	<p>「校舎・体育館・運動場・特別支援教室等を“適切な”配置や規模にします」というところの“適切な”を“適切でゆとりのある”等に変えるといいのではないかと。</p>
5	<p>給食のところで、配膳室のみ記入されているが、給食室が記入されていない。給食室と、配膳室は全く違います。</p>
6	<p>「衛生的で“快適な”給食配膳ができる計画とする。」の表現は、“快適な”を“安全な”にした方が良くはないかと。</p>
7	<p>給食室は、校舎の中に造るより、衛生的なところも考え、独立して建てるべきである。委託調理の現状や、センター方式に変更されることも視野に入れると校舎と別棟のほうが好ましいと思う。その場合、校舎と給食施設が廊下でつながっている構造にしてもらいたい。また、食材等の運搬トラック等の出入りにも配慮して建設していくことが大切である。</p>
8	<p>エレベーターのところは、生徒用のエレベーターと給食用エレベーターと明記してはどうか。</p>
9	<p>体育館は現在と同程度と書いてありますが、避難所としても使う。避難所も兼ねるなら、体育館は2階建にしていただきたい。2階建てにすれば、床面積で考えると倍の人が収容できる。1階は災害時に役場の人が使えるように、フロアではなくてコンクリートでも良いのではないかと。2階はフロアにして、体育館として使えるようにしてはどうか。</p>
10	<p>体育館は現在の広さより広くしていただきたい。例えばバスケットコート2面分等といったように、きっちりした大きさを検討していただきたい。</p>
11	<p>武道場は、総合体育館の武道場を使用するとの考えがあります。総合体育館を使用するにあたって制約等はありませんが、中学校が総合体育館を使い始めた当初に比べ、現在は総合体育館の使用に関して、結構厳しいお言葉をいただきます。また部員の更衣なども、以前は総合体育館に置いていて良かったのですが、今は持って帰っているという状態で、だんだん使用に関して厳しくなっている。</p>
12	<p>体育施設の中に器具庫、屋外トイレとなっていますが、これだけで良いわけではない。各欄の表記の最後に「等」と書いてあるので、この「等」がすごい数を含んだ「等」と考えている。この「等」には沢山のものがあるということをご共有認識としてもらいたい。</p>
13	<p>多目的スペースは囲われていないようなスペースという捉え方、多目的教室は囲われたスペースという考え方で進めていきたい。</p>
14	<p>管理諸室も、現在と同程度となると、現在の職員室では大変狭いです。</p>

15	大きな学校には事務室が別室で用意されていると思う。また共同実施室も設置してもらいたい。
16	空調は必ず必要です。また体育館についてですが、中学校の体育館で卒業式が行えるのが理想です。
17	地域との連携のところは、あまり見えていない部分が多いので今後の協議の中でさらに検討していくべきではないか。
18	新たに建つ校舎の位置にもよると思うが、現校舎跡地には、庭のような息抜きができるようなスペース、また現在は職員駐車場が足りず総合体育館の駐車場を借りている状況なので、駐車場なども考えてもらったうえでスペースの活用を期待したい。
19	建築に入った際には、現在の校舎で勉強をしていく生徒の学校教育活動への影響に十分配慮を行う必要がある。

第6回 明和中学校建設検討委員会での主な意見	
1	現在の状況の12番の普通教室棟ですが、図には管理教室棟となっていますが、これは訂正したほうが良いのではないのでしょうか。
2	もし訂正が可能であるならば、配置図の左側が田んぼのマークですが、現在は家が建っていますので変更していただきたい。
3	運動場をどうしていくかという問題もでてくるので、農協敷地のサイズをほぼ実測のものとしてほしい。また、番号が飛んでいるので連番にしてほしい。
4	「水泳の授業は行っていません」という表現は不要である。
5	自然環境に配慮した学校の「環境問題を“感じ”」のところは、「環境問題に“関心を持ち”」という表現のほうが適切であると思う。
6	地域と連携した学校の網掛の最後の部分ですが、脱字があります。
7	中学校を何階にするのかといった点を盛り込むことが必要ではないのでしょうか。
8	現校舎の前のグラウンドへ、新校舎を建築する予定ですが、2階建にするより多くの土地を使用する必要があります。役場と農協の建物が無くなったとして、今と同じグラウンドの広さを確保するためには、やはり3階建てにするのが好ましいと思います。また、棟数を増やすより、階層を増やす場合の方が費用も安いと思う。
9	農協と、庁舎の移動がいつ行われるか不明確であるので、校舎の建設位置はこの場では論議しないこととしたい。
10	使いやすくするためには、学年が同じフロアにあるのが望ましい。全クラスが同じフロアで、かつ見通しのきいた廊下が一番使用しやすい。
11	3階より上階は作らない。可能な限り同一学年同フロアとするで良いのではないか。
12	諸室に各学校の事務官が参集し使用する「共同実施室」は不可能ですか。共同実施室という明記が無くても、実施が可能な小さな部屋を作っていただくのが可能かどうか。「等」と明記している範囲に入っていると考えてもいいと思いますが、明記されていないということで、省くことはあってはいけません。中学校としては、他にもまだまだ設置してほしい部屋が沢山ある。
13	共同実施室用として部屋を設けていただくことに加え、少なくとも電話回線、パソコン回線の独立を要望いたします。事務室を広めに設計してもらえば、共同実施室としての使用も可能だとの意見もいただいています。
14	共同実施室としても使えるような事務室の部屋の規模は、役場の大会議室の半分程度であれば十分である。

15	共同実施室については、設計段階で入れてもらうよう共通の意識としていただきたい。
16	会議室については、共同実施室を含めた諸室に転換が利くように、2室としてはどうか。
17	先生方が使用する大会議室、それに類する事務員のための会議室を用意することで良いかと思います。
18	体育館には本来であるなら、ステージが必要である。現在、明和中学校は近くの町の総合体育館を利用しています。総合体育館が使いやすい状況であるなら、中学校の体育館にステージは必要ないと思います。
19	ステージについては、配置計画の中で詰めていくということではないか。
20	家庭科で調理したものを、20～30人で食べるようなスペースを作らなくて良いか。この前視察した神戸中学校にはそのようなスペースがあった。
21	無いよりはあった方がいが、20～30人で食べるようなスペースを作らなくても家庭科室に椅子を並べて食事をしても良いのではないか。また、被服室はミシンを使う授業を最近は行っていないのでいけないのではないか。
22	廊下については、片廊下としたいと思います。
23	生徒が使う玄関は、どのような棟が建つかにもよるが、基本的には生徒数が多いので最低2つは必要である。神戸中学校は学年別に入口がありました。そうでないと、とても人数が多いので、とても混雑いたします。
24	多目的スペースは、多目的なスペースと、多目的な教室を計画していく考えでいきたいと思います。
25	明和中学校の敷地の海拔は現状で8m程度ですが、排水が悪い。なぜ排水の状態が悪いのかはわからないのですが、もし高低差が無い状態で排水が悪いのであれば、土を盛り、高さを上げるような工夫をした上で校舎を建てていただきたい。北館は現在でも湿気が溜まりやすく、シロアリが湧いたりすることがあります。
26	自然環境に配慮した学校という中で、跡地を利用した緑化、生徒がくつろぎ、憩えるような場所を設けると良いと思います。
27	緑化については、木の種類や植え方によっては、維持管理が大変になる恐れがあります。
28	施設計画の1つ目の◆マークのところに誤字があります。
29	アンケート結果のところですが、対象人数と回収率を載せてはどうか。

第7回 明和中学校建設検討委員会での主な意見	
1	3ページの配置図で、総合体育館というのは、「総合体育館」という名称なのでしょうか。明和町総合体育館という方もいます。正式名称を明記したほうが好ましいと思います。
2	配置図には③屋内運動場とありますが、6ページの(2)諸室の想定には体育館とありません。名称的なものは良いのか。名称は揃えたほうがいいのかどうか気になります。
3	文科省の名称では屋内運動場となっています。
4	(2)諸室の想定には、明記されていない部屋がある。例えば校務員の部屋だが明記したほうがいい気がするが、それを言い出すといっぱい明記する項目が増えるのでどうかと思うが、職員に聞いたところ、やはり「校務員室が抜けている」とか、「体育館の控室がほしい」とか言われます。

5	現実的には、校務員室はそれほど使用していない。着替えをする程度である。利用頻度は高くはない。
6	校務員でも休憩室は使用できる。そうであれば、特段、校務員室という明記はこの段階では必要ないということでしょうか。
7	体育施設の中に管理室、教員室、教官室が、体育の先生は「欲しい」と言っています。
8	はすはな中学校は、実際は体育施設内の管理室等を使っていなかった。しかし、ミーティングルームは必要ではないか。確かはすはな中学校には、そのような部屋があった。当然、外部の人も利用できるようにしていた。
9	ミーティングルームは、中学校のクラブの先生からすると、練習試合とか、大会が開催される時の控室、打ち合わせスペースとして欲しいという声は結構な頻度で耳にします。月曜日から金曜日までの授業で考えると使用頻度はそれほど高くはないが、土日で考えると試合等の時に顧問が集まるところになると想定できる。
10	総合体育館にもミーティングルームがありますが、ミーティングルームではなく、ステージの横にある部屋を使用し、よく食事や、打ち合わせをしたりしています。
11	「体育施設」にミーティングルームを追加していただくということでしょうか。
12	先ほどの校務員室と関わると思うのですが、湯茶室がありませんがどうでしょうか。コップがあつたり、冷蔵庫があつたりする部屋ですが、このような部屋はあえて明記していないのか。
13	どこまで明記したらいいのかが、やはり分からない。湯茶室で手洗いをしたり、食器を洗ったり等もします。
14	湯茶室は明記して当然という考えとなりますが、明記すべきかどうか。
15	部屋というよりは、職員室の一角になるのではないかと。職員室から外に行くための玄関とかも必要になるが、それも職員室に含まれるのではないかと。
16	部屋として作るのではなく、職員室の中でコーナーを設ける形で良いのではないかと。
17	湯茶室に関しては職員室に必要な場所であると、ここで確認された意見として「主な意見」の中に記載をお願いします。
18	「主な意見」に書いてほしいのですが、「諸室の想定はあくまで基本的な部屋であって、実際の設計段階で、しっかりと考える」というふうに書いておいていただきたい。
19	屋内運動場の体育館ですが、ステージは必要ないだろう、あるいは運動場ですが、別の第二運動場が使用できることを前提としたこれまでの協議であったと思います。しかしながら、施設の利用が将来まで約束されているかについて、不安があります。そのことに関して、この計画では不足があると感じます。その不足の点を、どこでどう反映するのか、協議する必要があると思う。例えば前回の協議の「主な意見」の後ろから2枚目のところで、「本来ならばステージは必要である。現在明和中学校では行事の際は、町の総合体育館を使用しています。総合体育館が使いやすい状況であるならば、学校の体育館にステージは必要ないですが」と、ここにこのように載っているが、これでいいのか。または、もう少しどこかで押さえておく必要があるのかを協議すべきだと思う。
20	現実問題、ステージの無い体育館を中学校に建てた場合、町の総合体育館が仮に老朽化し、新しい明和中が建てて20年ぐらいい経ち、町の総合体育館を建てなおさなければならないことが起きた場合、その際、ステージが無い明和中学校は、総合体育館が現在と全く異なる場所に立った場合、非常に困る。式典的行事が、何もできなくなってしまう。ステージの無い体育館を建設した場合は、そのような心配はある。
21	現段階では、総合体育館のステージを使用できる見通しがあるが、50年、60年先

	を考えてステージのことを考える必要があるのではないか。
22	ステージをつくと椅子の収納が可能になる。体育館には必ず椅子がいる。
23	現在の明和中学校では、PTAの役員分ほどしか椅子が無い。PTA総会も総合体育館で行われている。
24	前回とは異なるかも知れませんが、協議を踏まえると、ステージがあり、そして武道場も併設され、ミーティングルームを備えた体育館が必要という考えになる気がいたします。
25	普通は、体育館にはステージがありますので、明記の必要はないのではないか。「屋内運動場は、避難所としての活用を想定しての規模とする」との記述があればステージのある体育館になると思います。ステージのない体育館は普通無い。
26	ある程度の催し物ができるステージのサイズなのか、人が話せる程度のステージの大きさなのかなど色々ありますが、そのあたりの規程もどう考えていくのか。
27	行事もできる屋内運動場ということで確認していただいたらいいのではないか。
28	給食施設のところには、調理室しか明記されていませんが、「等」と追記願います。
29	この建設検討委員会では、「中学校がこうであつたらいいな」ということで意見を出しました。そして町長におかれては、それをさらに補強していただいた。議会の方の意見で変わる部分があることは、われわれは了承していく形で、最終的に出来上がる基本構想については、会議ではなく、文書で確認をするという形でいいのではないか。
30	直接明和中学校の校舎には関係ないが、校舎を建て替える時に、学校の敷地の周辺道路について、以前役場前の信号交差点については話があった気がしますが、それ以外の部分で、例えば災害が起きた際のことを考えると、裏の道路はいかにも狭いので学校の敷地を削ってでも、車がスムーズに通れるような周辺の環境整備をしていただきたい。また、歩道をつけてほしい。グラウンド側は歩道があるが、反対側はない。学校近辺だけでも、自転車が通れるような歩道の整備も含めて考えていただくとありがたい。現在数多くの苦情が寄せられているので、周りのことも考えて整備していただきたい。
31	基本構想（案）を皆さんで意見を出し合い作成してきました。あとは何とかして財源問題をクリアして推進していったらいい。役場を移動して等の話もあるが、「早く新しい中学校を建てよ」という話はあるが「早く新しい役場を建てよ」という話は聞かない。課題山積ですが、ぜひとも前進する方向でお願いいたします。
32	校舎建て替えと合わせて、給食がスムーズに行われるようになることを考えて、建設していただきたい。
33	改めて色々考えましたが、子どもたちの現状を十分に考えると同時に、時代の流れもあるが、子どもたちが安心、安全に学校に来られるような学校にしていきたい。今後より具体的になっていくだろうが先生たちの意見も聞いてあげていただきたい。
34	大阪の中学校、また神戸中学校の視察を行い、また回を重ねるごとに新しく建設される明和中学校がはっきり見えてきた気がします。中学校は教科の専門性がある。自分の教科以外のことはなかなか分からないので、その色々な教科の先生にも具体的な意見を聞くことはとても大切だと思います。また、一日でも早く新しい校舎が建つのがいいと思います。
35	この会議の場は、良い方向に考えて良い雰囲気でも進みましたが、これからは私たちにわからない制約もかかってくるだろう。しかしながら、具体化していく中で、現場の意見を吸い上げてほしい。また、現場の人は言いにくいだろうが、職員は日々ストレスを抱えています。それを解消するための空間的なものも必要である。ストレスが安らぐ要素でもあるので、一見贅沢と思われるかもしれないが、その観点も忘れていただきたくない。

36	<p>安らぎの空間を考えていただきたい。緑のあるほっとするような空間を、後から考えるのではなくこの際にあわせて検討していただきたい。また、PFI方式の導入も考えているようだが、問題点も色々があると聞いています。はすはな中学校を見た際も「この箇所がなかなか修繕できない」などの問題もあり、新たな改造は難しいと思いました。その方式を導入するにあたって、十分な協議・検討が必要だと思います。</p>
37	<p>現在の中学校で生活しているものからすると一日も早く着工していただきたい。生活していると、地震が起きないでほしいと心から思っている。大変心配である。また、そこで生活する子ども、職員の意見をしっかりと吸い上げていただきたい。設計図が出来上がってくると、設計者は自分の設計に妙にこだわる方が多い。そうではなくて、働く者、勉強する者にとって機能的な施設、長い時間生活していける場であるように、彼らの意見を十分に汲んであげていただきたい。さらに、良い雰囲気でのこの委員会は進みましたが、設計や着工になった際に、ここにいるメンバーはほとんどいないことが想定される。教育委員会の方で引き継ぎをしっかりといただき、基本構想で話したことが生きていくシステムが必要だと思う。</p>

(2) 明和中学校建設に関するアンケート調査結果

① アンケート実施概要

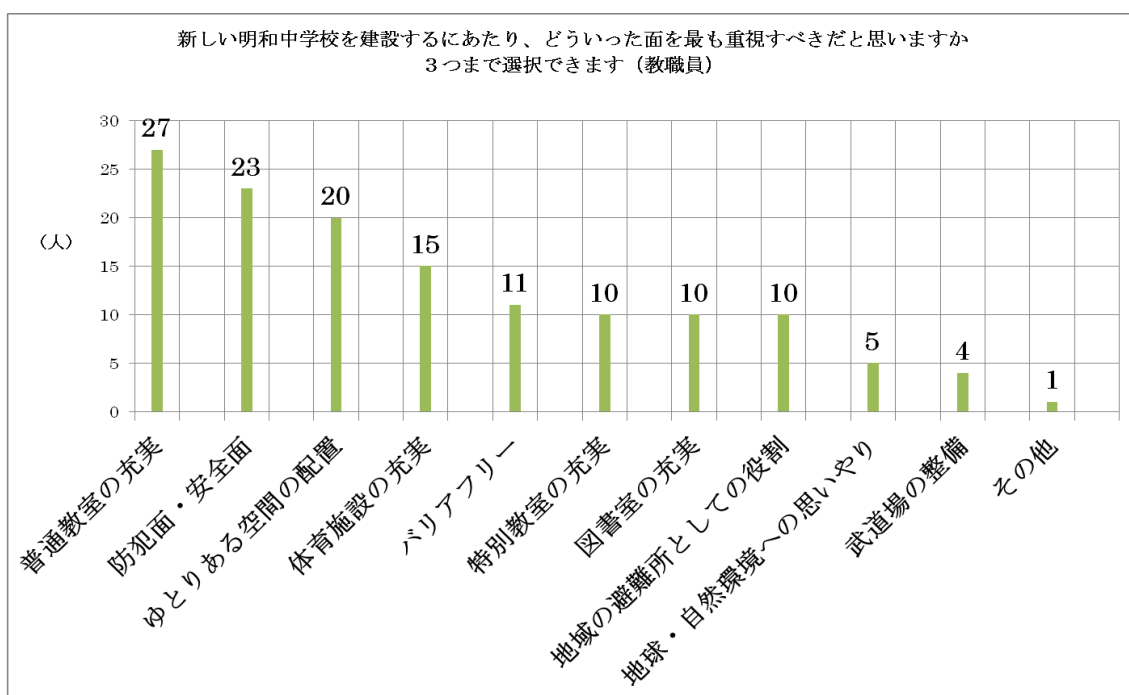
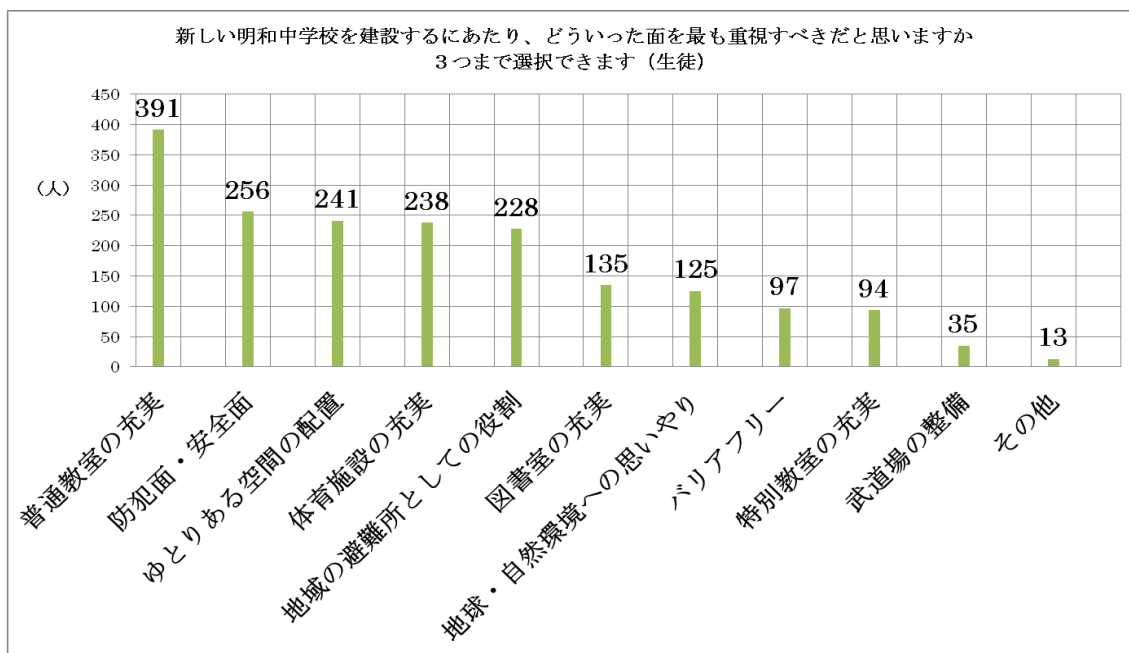
実施日：平成 25 年 9 月 3～4 日で生徒は実施。教職員は 3～9 日で実施。

実施方法：各クラス単位でホームルームの時間に配布、その場で回答（生徒）。

配布対象者：全生徒（685 人）及び教職員（46 人）。

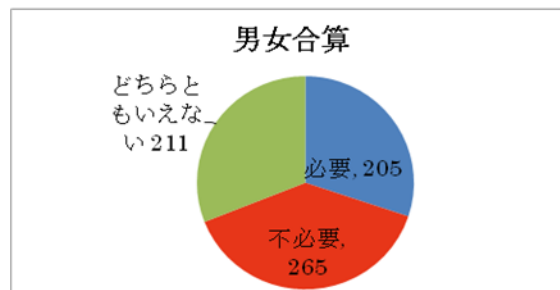
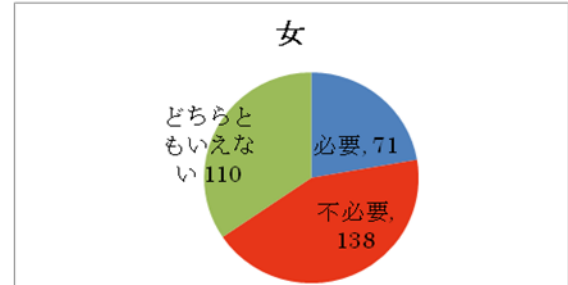
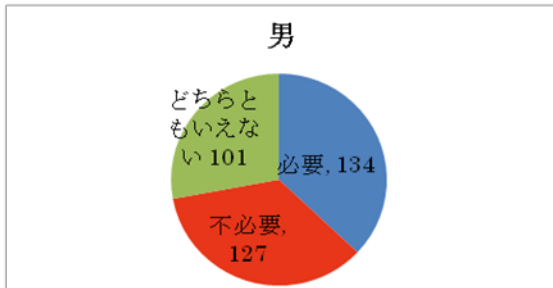
回収率：100%

② アンケート結果概要

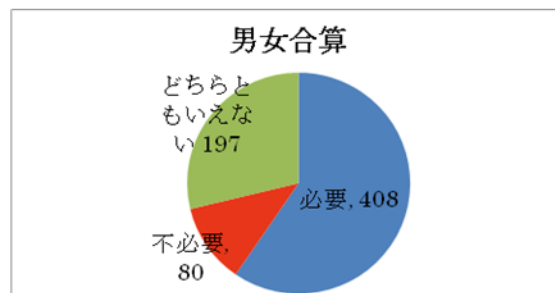
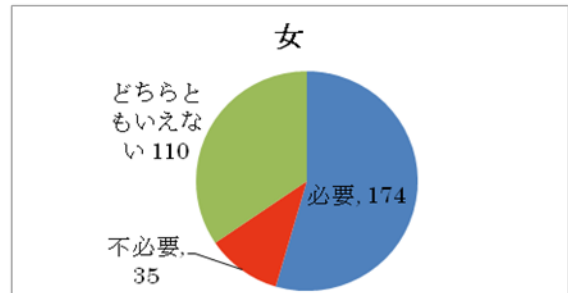
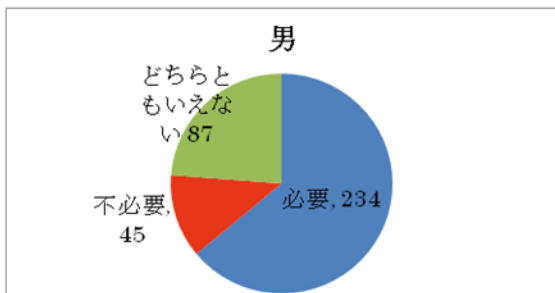


グラフ表示～全学年～

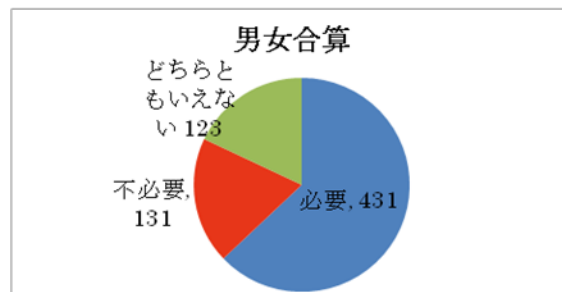
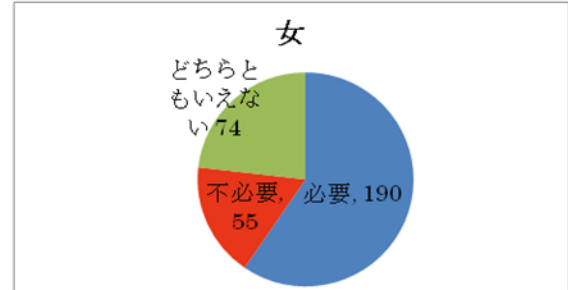
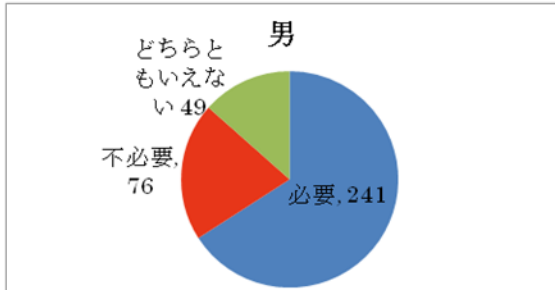
新しい明和中学校にプールは必要だと思いますか



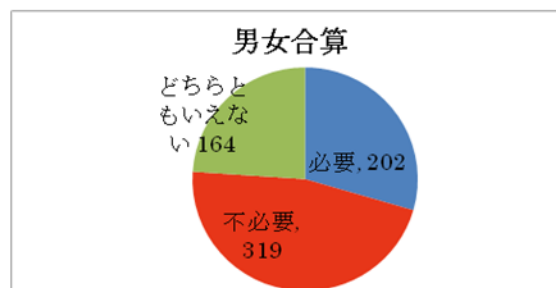
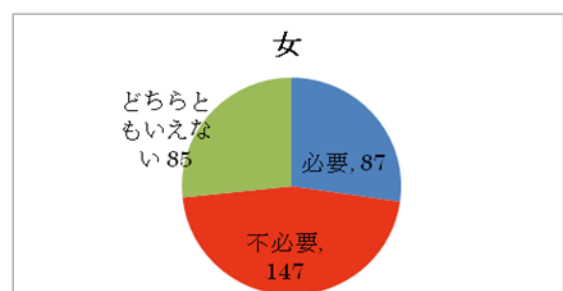
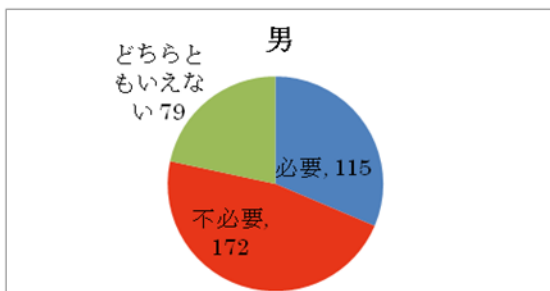
新しい明和中学校は太陽光等の
エコ発電を採り入れるべきだとおもいますか



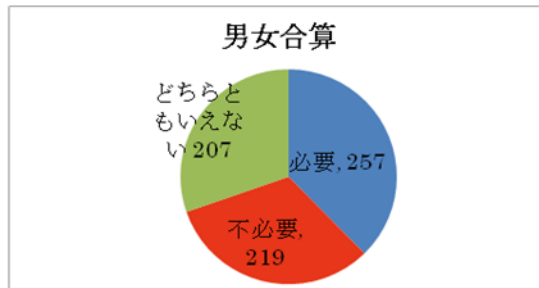
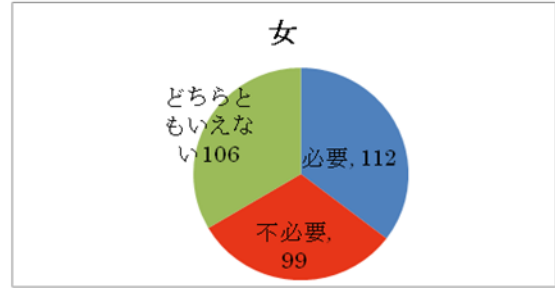
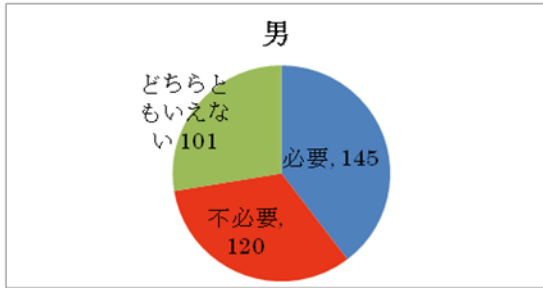
新しい明和中学校にはクールダウンできるようなスペース
(精神的な疲れをいやし、くつろげる空間)が必要だと思いますか。



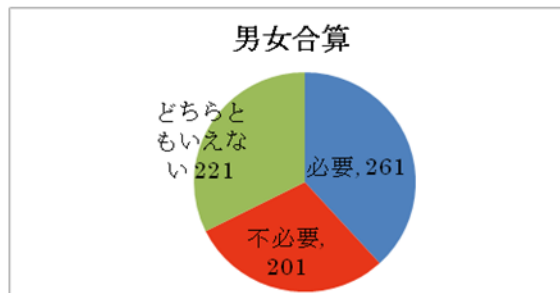
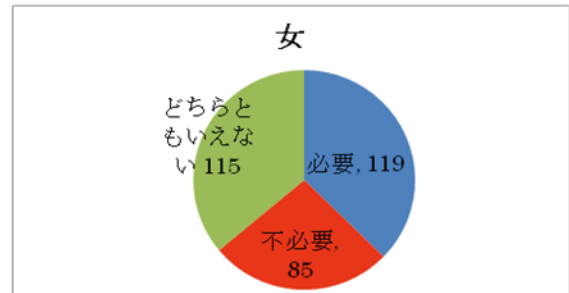
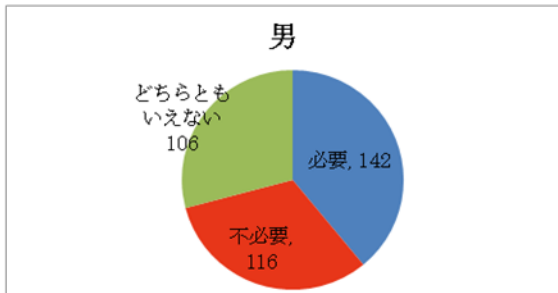
新しい明和中学校の校舎に
ランチルーム (給食を食べるための部屋) は必要だと思いますか



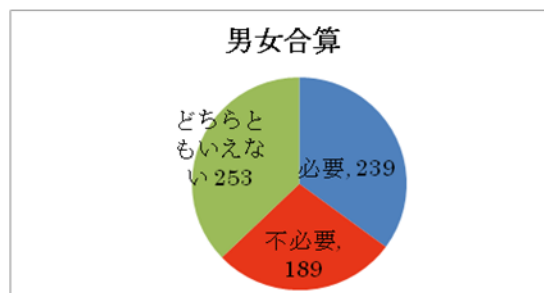
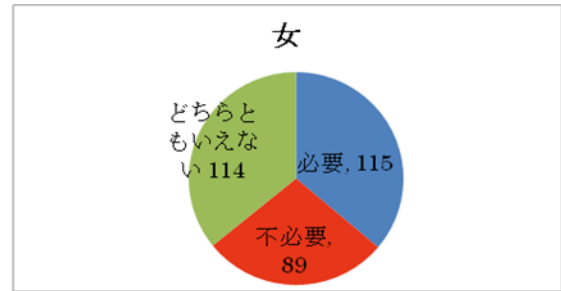
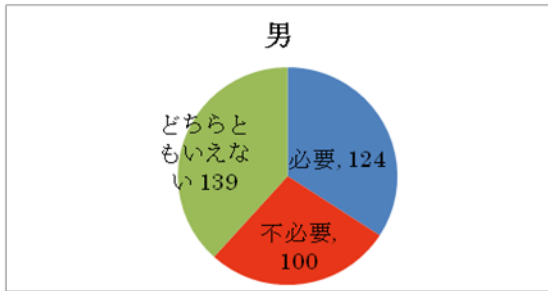
新しい明和中学校の校舎に
学年集会などにも使える多目的室が必要だと思いますか



新しい明和中学校の校舎に
自主学習ができる教室が必要だと思いますか

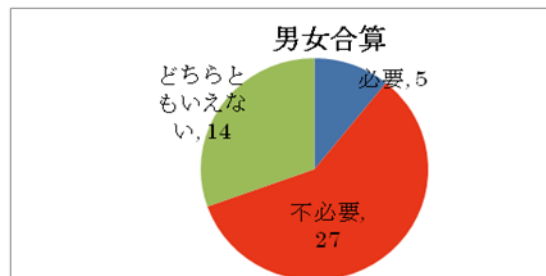
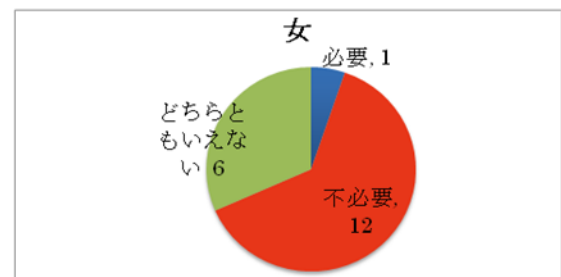
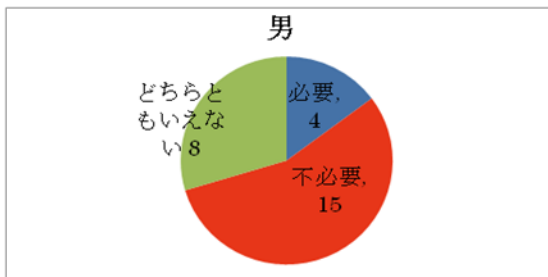


新しい明和中学校の校舎に更衣室は必要だと思いますか

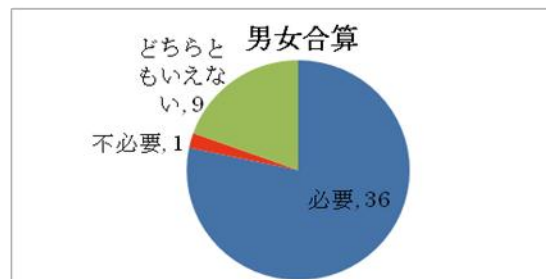
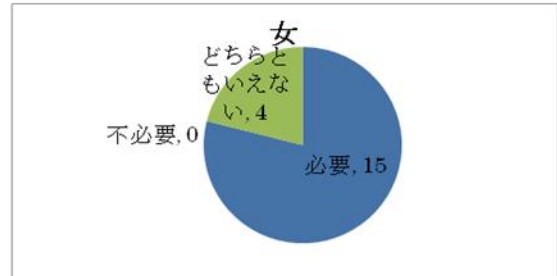
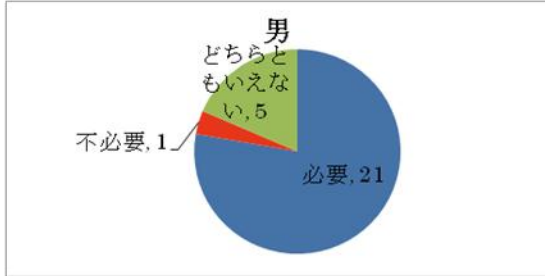


教職員～グラフ表示～

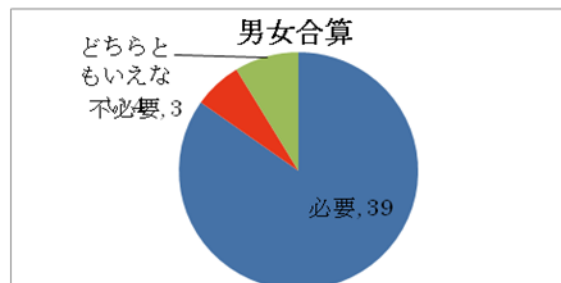
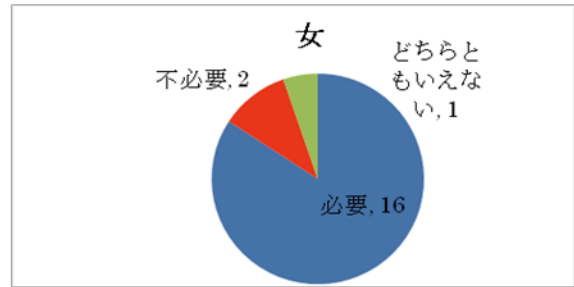
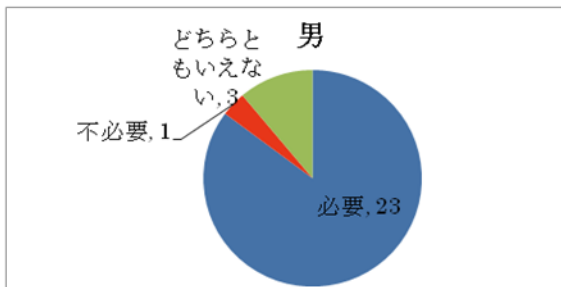
新しい明和中学校にプールは必要だと思いますか



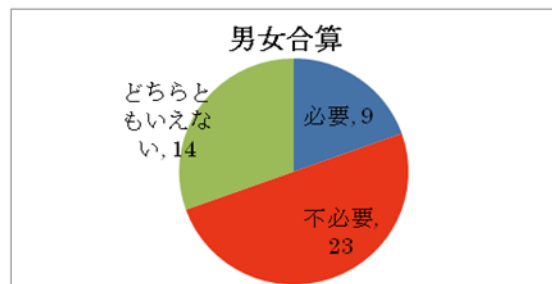
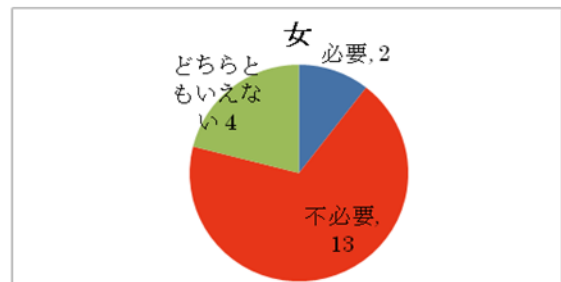
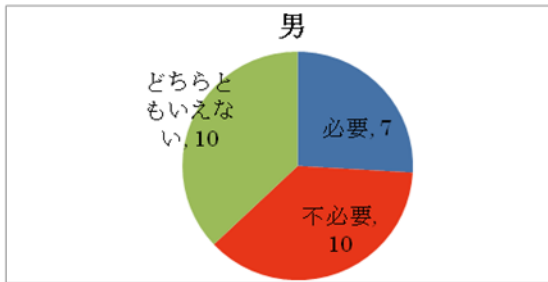
新しい明和中学校は太陽光発電等の
エコ発電を取り入れるべきだと思いますか



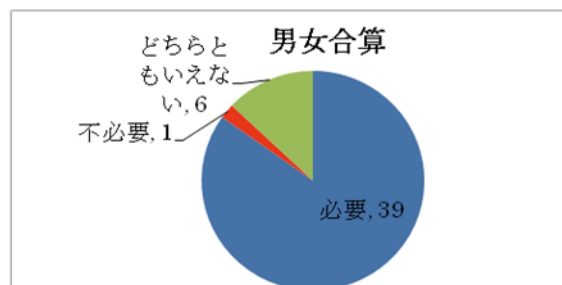
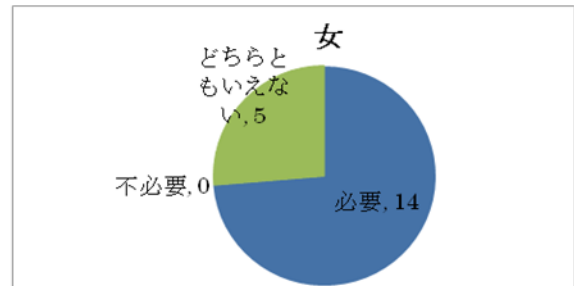
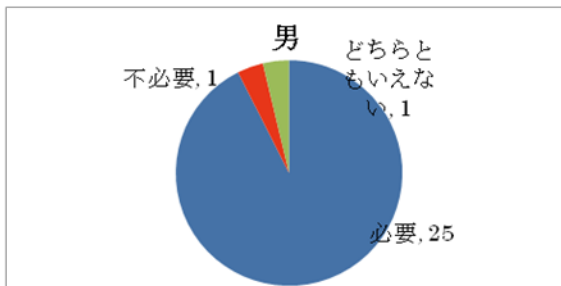
新しい明和中学校にクールダウンできるようなスペース
(精神的な疲れをいやし、くつろげる空間)が必要だと思いますか



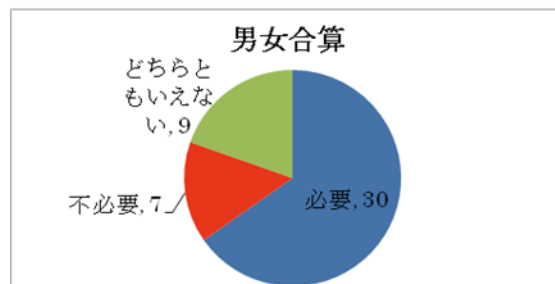
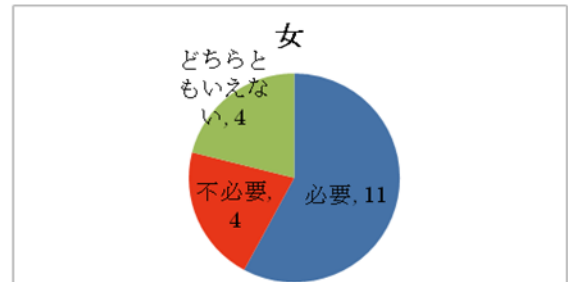
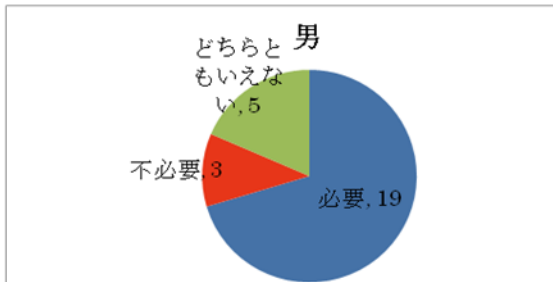
新しい明和中学校の校舎にランチルームは必要だと思いますか



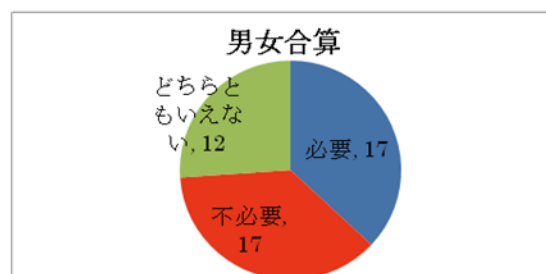
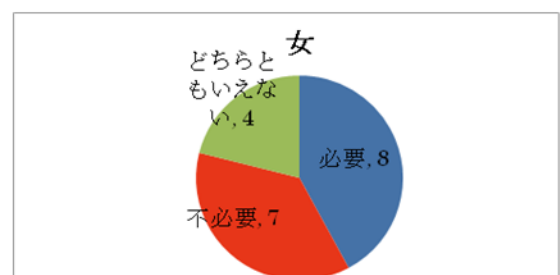
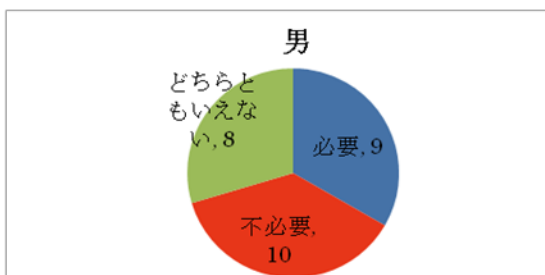
新しい明和中学校の校舎に
学年集会などにも使える多目的室が必要だと思いますか



新しい明和中学校の校舎に自主学習できる教室が必要だと思いますか



新しい明和中学校の校舎に更衣室（生徒用）は必要だと思いますか



(3) 学校沿革史

昭和 22 年 4 月	新学制の実施により、義務教育 3 ヶ年の中学校が設立。当時 4 ヶ町村にわたり 4 中学校が設立。大淀町立大淀中学校:仮校舎大淀小学校、上御糸村立上御糸中学校:仮校舎上御糸小学校、下御糸村立下御糸中学校:仮校舎下御糸小学校、斎宮村外 1 ヶ村学校組合立斎明中学校:仮校舎明星、斎宮、修正小学校
昭和 23 年 7 月	大淀・上御糸・下御糸中学校を合併し、大淀町外 2 か村学校組合校が設立された
昭和 24 年 3 月	斎宮村大字斎宮に斎明中学校独立校舎完成。仮校舎閉鎖。
昭和 24 年 9 月	上御糸村大字前野に三和中学校独立校舎完成。仮校舎閉鎖。
昭和 30 年 4 月	大淀・上御糸・下御糸の 3 か村が合併して三和町となる。斎宮・明星の 2 か村が合併して斎明村となる。学校組合立であった両校はそれぞれ町村立に変更。
昭和 33 年 9 月	三和町及び斎明村合併。明和町となる。三和中学校及び斎明中学校を統合して、明和町立中学校を設立。当時校舎はなく旧三和中学校を北校舎、旧斎明中学校を南校舎と称し、両校に分かれて開校。
昭和 33 年 12 月	新校舎敷地を現在地に定め、校舎建築起工式。
昭和 34 年 6 月	第 1 期工事完成。
昭和 34 年 12 月	第 2 期工事完成と同時に北校舎閉鎖。
昭和 35 年 1 月	第 2・3 学年の授業を新校舎で開始。
昭和 36 年 5 月	第 3 期工事完成。南校舎閉鎖。全学年新校舎で授業。
昭和 36 年 10 月	第 4 期工事完成。
昭和 38 年 3 月	屋内体育館完成。
昭和 40 年 7 月	プール竣工。(50m 公認)
昭和 43 年 9 月	給食室完成。10 月より給食開始。
昭和 57 年 3 月	校舎増築。(普通教室 6)
平成 3 年 3 月	新技術棟(木工室・パソコン室)完成。
平成 5 年 3 月	給食調理室完成。
平成 7 年 8 月	カウンセリングルーム新設。
平成 8 年 3 月	全館に手すり設置。各階に洋式便所設置。
平成 8 年 10 月	運動場西側に部室完成。
平成 9 年 8 月	校舎耐震工事完成。
平成 11 年 1 月	米飯給食推進モデル校指定により、新規給食用食器類使用開始。
平成 11 年 3 月	サッカー場完成。
平成 12 年 3 月	野球場・ソフトボール場完成。
平成 15 年 8 月	バリアフリー工事(トイレ改装、エレベーター設置、スロープ整備等)
平成 18 年 3 月	北館一階に共同実施事務室設置。
平成 21 年 9 月	体育館耐震工事完成
平成 22 年 8 月	プール解体・撤去。